

2-34-1 たけのじょうおう 武野紹鷗

文亀2年(1502)～弘治元年(1555)

大和出身の茶人・豪商。のちに堺に移り住んだ。上洛して三条西実隆に和歌を十四屋宗陳・宗悟らに茶の湯を学ぶ。堺に帰ってからは北向道陳らと交友し、南宗寺の大林宗套に参禅して一閑居士の号を許された。茶道においては、わび茶を好み、利休を初めとする多くの門人に大きな影響を与えた。

説明板より